平成２５年第５回室蘭市社会教育委員の会定例会会議録（要旨）	
日　　時	平成２５年１０月１０日（木）　１０時～１１時４５分
場　　所	２階大会議室
出席委員	松岡委員長、亀田副委員長、越谷委員、中塚委員、中野委員、中村委員、平林委員、増川委員、余語委員
欠席委員	若佐委員
事 務 局	山田教育長、山本課長、高木館長、矢元主幹、加地主幹、北川主幹、斉藤生涯学習推進アドバイザー、石井主査、佐藤主事

＜議事報告＞

【日程１】

報告第１号　平成２５年第３回室蘭市議会定例会について

（事務局）事務局より説明した。

（質疑応答　なし）

【日程２】

報告第２号　指定管理者施設における管理運営評価（平成２４年度評価）について

（事務局）事務局より説明した。

（質疑応答）

（Ａ委員）　青少年科学館について、今後耐震改修が予定されているという事だが、このまま現行の施設を活用するのか、それとも移転するのか方向性は決まったのか。

（事務局）　青少年科学館は現行の施設について、今年度耐震改修工事に向けた実施設計を行い、来年度耐震改修工事を実施する予定である。

【日程３】

報告第３号　室蘭市文化財審議会委員の委嘱について

（事務局）事務局より説明した。

（質疑応答　なし）

【日程４】

報告第４号　室蘭市芸術文化表彰について

（事務局）事務局より説明した。

【日程５】

報告第５号　室蘭市スポーツ表彰について

（事務局）事務局より説明した。

【日程６】

報告第６号　室蘭市青少年及び青少年育成者表彰について

（事務局）事務局より説明した。

（質疑応答）
（Ｂ委員）　表彰者は広報紙で掲載されるということだが、どの程度掲載されるのか。
（事務局）　写真と名前に加え、功績ついて若干掲載される。１１月号に掲載されるので、ぜひご覧いただきたい。
（Ｂ委員）　新聞等で拝見させていただいて、表彰に値する活動だと思っていたが、特に子ども会について、中にはこういったものがある事を知らない親がいると思うので、積極的にアピールしていいのではないか。
（事務局）　子ども会は市内に１０地区あり、それぞれが盛んに活動を行っている。
（Ａ委員）　１０地区というのは校区や町会に従って分けられているのか。
（Ｃ委員）　中央地区や蘭東地区、東明地区など一般に９地区と呼ばれるものに宮の森・知利別地区を加えた１０地区である。それぞれの地区で青少年健全育成協議会が教育委員会青少年課の協力を得ながら活動を行っており、子ども会に力を貸しながら将来のリーダーとなる人材の育成等、スクール児童館等を拠点に実施している。
（Ａ委員）　春には桜まつり、夏には盆踊りなど様々な企画が行われている。
（Ｂ委員）　子ども会にはどのように所属するのか。
（Ｃ委員）　所属というものではなく、その地区にいる子どもが対象である。

【日程７】
報告第７号　第５３回北海道社会教育研究大会（根室大会）について
（委員長）委員長より説明した。
（質疑応答）
（Ａ委員）　学校教育でもなく社会教育でもない第３の教育とはいったいどのようなものを指すのか。
（委員長）　私も正確には意味を把握できていないが、例えば他都市では児童館が地域の人に開かれているなど、年代を越えた教育という事が挙げられていた。

（Ｂ委員）　他市の社会教育委員の活動でラジオ体操などが記載されているが、これは社会教育委員が企画・開催したのか。
（委員長）　夏休みだけに行うものではなく、定常的に地域で開催するように社会教育委員が企画したものである。
（Ｂ委員）　社会教育委員は提案に対して意見を述べるだけという印象があったが、これらを見ると社会教育委員の印象が大分変化する。社会教育委員の立ち位置はどこなのか。
（事務局）　他市の事になるが、小さな自治体だと社会教育委員が町の顔役として活動されているところも多く、委員の活動と個人の活動が混同されやすい。
（Ｂ委員）　この場を見てみると、体育協会や文化連盟などの団体から委員が出ているので、企画はやりやすいのかと思う。社会教育分野における横断的組織が必要ではないか。
（事務局）　団体間での連携となると、市民活動センターなどがそれにあたるのではないかと思われる。連携することでどの様な効果があるのか。
（Ｂ委員）　地域間で情報交換ができるのではないか。
（Ｄ委員）　全道大会等に参加すると自治体の規模で違いがある事が良く分かる。小さな自治体では「顔の見える」状態で活動を行っており、大きな自治体になると「顔の見える」状態が地域ごとになる。現状はそれでうまく行っているよ

うに感じるが、情報交換は必要だろうか。

（Ｅ委員）　学校区で言うと、先ほど話に合った青少年健全育成協議会や町会など、学校・家庭・地域の連携はとれている。

（Ｂ委員）　地区ごとではそうだが、それが比較・検討できる部署が必要ではないか。

（Ｆ委員）　社会教育委員の制度自体が出来た時と今では違うのではないか。当時は「顔の見える」状態であったが、現在は委員毎にそれぞれのフィールドがあり、それぞれの分野について、意見を述べること、目配りすることを求められているのではないか。

（委員長）　例えば「顔の見える」位置にいるのは民生委員などがあると思う。社会教育委員として何かをしなければならないと思うと、仕事を持たれている方も多いので現状としては難しいのではないだろうか。

【日程８】

報告第８号　１０月・１１月行事予定について

（事務局）事務局より説明した。

（質疑応答　なし）

【日程９】

研究協議（１）　第２次室蘭市男女平等参画基本計画について

（事務局）事務局より説明した。

（質疑応答）

（Ｂ委員）　表彰について道や国に推薦しているとあるが、過去に推薦したものはあるのか。

（事務局）　個人について推薦を行い、表彰を受けている。

（Ｂ委員）　企業について前例がないのであれば、計画内に記載してもよいのではないか。

（事務局）　検討する。

（Ｇ委員）　多くの意見を反映していただいてありがたく思う。防災会議について現在女性の方が２人になっているとお聞きした。今後も男女平等参画を進めてほしい。

（Ｆ委員）　計画の見直し期間を５年としているが、計画内に掲載できないか。

（事務局）　第３章「計画の推進」に加えたい。

【日程１０】

研究協議（２）　室蘭市社会教育後期推進計画について

（事務局）事務局より説明した。

（質疑応答　なし）